

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	不登校のこどもの学びとつながりサポート事業				事業番号	014-143
担当部署名	こども青少年局	局	こども青少年育成部	部	こどもの未来応援室	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 〜Children's future〜	施策	(5)厳しい環境にある子どもと家庭への支援の充実	
			有	取組の方向性	①ひとり親家庭などへの支援			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(1)貧困をなくそう		ターゲット	1.3
			有	取組	生活困窮世帯の子どもの学習、進路支援の充実			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—

2	関連計画	堺市こども計画		
3	事業開始年度	令和 6 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	—		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	前年度の欠席日数が90日以上で、かつ、生活保護、就学援助、児童扶養手当のいずれかを受けている世帯の中学生				対象数	単位
						40	人
7	事業の目的	生活困窮世帯の長期欠席している中学生を対象に、家庭教師を派遣し、学びの機会と家族以外の第三者とつながる機会を確保することで、基本的な生活習慣の定着、学習やつながりを通じての自信回復、自己肯定感及び自己有用感の醸成、対象者の孤独・孤立の防止を図り、将来的な貧困の連鎖を防止することを目的とする。					
8	事業内容	【事業内容】 ・家庭教師の派遣（上限30回） ・こどもの様子を適宜中学校等関係機関と情報共有 ・保護者同士の交流会実施（年2回） 【スケジュール】 ・4月：委託事業者の決定 ・5月：対象者抽出 ・6月：対象となる家庭に案内送付・申込受付開始（堺市電子申請システムにて申込受付） ・7月：利用決定したこども・保護者との初回面談 ・8月～：派遣する家庭教師のマッチング・家庭教師派遣開始（上限30回） ・7月頃・11月頃・3月頃：アンケート（事前・中間・事後） ・11～12月：中間ヒアリング（必要に応じて面談） ・2～3月：終期面談					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	不登校のこどもの学びとつながりサポート事業運営業務委託事業者（総合評価一般競争入札により決定）					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
11	前向きな変化を把握した割合	%	目標値	90	90	90	90
			実績値	80	93		
			達成率	89%	103%		
	当該指標を選定した理由	本事業は、こどもに学びやつながりの機会を提供することを意図した事業であり、「学び」や「つながり」の観点での変化が生まれることを目的としているため					
目標値の設定根拠・算出方法	家庭教師派遣を開始した者のうち、複数回利用した者へのアンケートやヒアリング等により把握する						
12	活動指標	単位		実績		目標	
			令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	複数回利用した者の割合	%	目標値	80	90	90	
			実績値	100	97		
			達成率	125%	108%		
	当該指標を選定した理由	こどもと継続的に関わることで、前向きな変化が見られると考えられるため					
目標値の設定根拠・算出方法	家庭教師派遣を開始した者のうち、複数回利用した者の割合で算出する						

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	不登校のこどもの学びとつながりサポート事業	事業番号	014-143
-------	-----------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	0	3,866	13,605	8,972	13,597
	財 源					
	国支出金	0	1,933	6,802	4,485	6,798
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
14	人件費（b）	0	3,240	3,360	3,360	3,480
	15 年間経費（c）=(a)+(b)	0	7,106	16,965	12,332	17,077

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	R8				R7	R8		
16	謝礼金	決算	117	59	家庭教師派遣委託料	決算	8,684	4,342		
		予算	179	90		予算	13,000	6,500		
	旅費	決算	16	8		決算				
		予算	80	40		予算				
	消耗品費	決算	43	22		決算				
		予算	50	25		予算				
	印刷製本費	決算	0	0		決算				
		予算	112	56		予算				
	通信運搬費	決算	112	56		決算				
		予算	176	88		予算				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	① 事業利用人数	人	15	34
	② 上記①にかかる年間経費	千円	7,106	12,332
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	473,733	362,706
	算出についての説明等			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	本事業は、生活困窮世帯の長期欠席している中学生に対し、学びの機会と家族以外の第三者とつながる機会を確保するものであり、事業利用人数の増加に伴い、単位当たり経費は、令和6年度から令和7年度にかけて改善している。また、成果指標及び活動指標ともに目標を達成しており、コストに対して一定の成果が確認できることから、費用対効果は認められる。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	家庭教師派遣を開始した者のうち、複数回利用した者の割合は97%であり、事業を利用したこども、保護者へのアンケートでは93%のこどもに前向きな変化が見られた。また、事業を利用したこども、保護者へのヒアリングからも、「家庭教師との関わりの中で、高校進学に向けて学習に取り組むようになり、進学希望先高校に合格した」「はじめは家庭教師と目が合わず、自分からは話さなかったが、家庭教師と関係構築する中で、少しずつ目が合うようになり、自分から質問するようになった」など、こどもそれぞれに前向きな変化が見られたことから、本事業は堺市基本計画2025の「ひとり親家庭などへの支援」や、堺市SDGs未来都市計画の主な取組となる「生活困窮世帯の子どもの学習、進路支援の充実」に寄与していると考える。
----	---

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	本事業は、学びの機会と家族以外の第三者とつながる機会を通じて、こどもの自信回復や自己肯定感の醸成、孤独・孤立の防止を図ることを目的としており、支援ニーズは引き続き高く、必要性の高い事業である。 また、アンケートやヒアリングにおいて、学習意欲の向上や対人関係の変化、自信の回復といった前向きな変化が確認されているほか、中学3年生の利用者全員が高校進学を達成するなど、具体的な成果も認められる。 よって、本事業は目的に沿った効果を十分に発揮しており、必要性・有効性ともに高い事業であると評価できる。
	有効性	■ 高い □ 低い	